

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

Vision

お客様からの厚い信頼と好立地という強みを活かし、企業価値を高める。付加価値を追求し、いかなる環境でも生き残る強靱な企業体力を構築する。

配当性向
30%以上

EBITDA
9億円以上

総設備投資額
30億円以上

有利子負債増加
10億円以内

2 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオ改善

産業構造の変化に対応できる中長期的視点に立った事業ポートフォリオの継続的改善と必要な投資の検討・実施

3. 液体貨物事業転換

石炭需要縮小に備えステンスタंक新設を検討。既存鉄製タンクのステンレス化も推進

2. ばら貨物事業拡大

新規貨物誘致のため汎用性の高いばら貨物倉庫を新設。2026年度中の完工を目指す

4. 資本・財務政策実施

成長投資を積極的に行いつつ、Net有利子負債増加を10億円以内に抑制し財務規律を維持

3 対処すべき課題

① 産業構造変化への対応

- ・石炭など既存貨物の需要縮小に対応した新規事業の創出
- ・汎用性の高い施設整備による新規貨物誘致

② 人材確保と育成

- ・事業継続性を担保できる人材確保
- ・コンプライアンス意識向上と安全強化に向けた社員教育

③ 経営基盤の強化

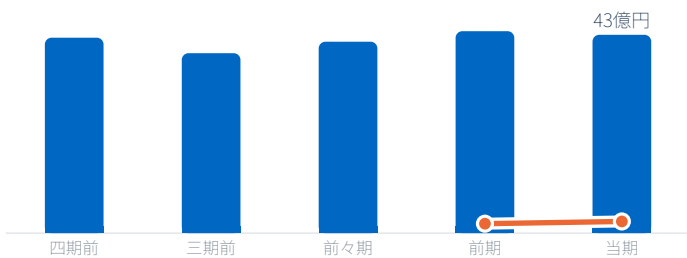
- ・業務上の中核設備の積極的な維持管理
- ・キャッシュ創出力向上によるEBITDA達成

面接で使えるポイント

- ・大阪港という国際貿易港で地元産業に貢献し、2026年度中の汎用性ばら貨物倉庫完工を目指す
- ・2026年度EBITDA9億円以上達成に向け、設備投資30億円以上を実施する成長志向
- ・健康経営優良法人2025認定のもと、働き方改革とコンプライアンス強化に取り組む

証券コード 9353

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
43億円

営業利益率
5.9%

財務健康度
37点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 40.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
609万円

倉庫・運輸関連業内 21位/31社

平均年齢
47.9歳

倉庫・運輸関連業内 3位/31社

平均勤続
18.7年

倉庫・運輸関連業内 7位/31社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

大阪港北部と大阪湾ベイエリアを拠点とする港湾運送・物流企業

主力事業・セグメント

- DryBulkCargo 54.5%
- LiquidBulkCargo 32.7%
- Wearhouse 12.8%

強み・特徴（公開データから）

- 平均勤続18.7年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 櫻島埠頭(株)【9353】：決算情報

